てなた練回公 げ災両度す たの総ま何時消 ま訓消にが日い皆合たを、防大いつ。が実設黒 す練防入 \程とさ防何し私署規また来 \施・石 °準団りまは思ん災がな達が模す総年唯さ自団 備と次だ1いと訓出け黒機害 委区第不1まー練来れ石能 員役、確月す緒をるば団」 。合度これ衛地 。に通のな地 会員公定を 考しから区なっ 練区兴初防、 **ーで設で予** をが訓期団こ えてをな自くて を一・す定 、、い治な行 計主練消でれ 立総自。し \subset い区こか会つ政 画体で火年ま ち合衛来て 上防の年ま き民の、でたや しとし訓1で

り常も

約し報

変た「

更がふ

は、れ

無去あ

効年い

とのし

な通で

員

夏

ま

5000

4 3

約検討会議

い区来ま総掲前

き自年し会載号

た治度たのしの

い会1 °規ま区

て地

と規年

思約間

いのか

検け

を黒

行石

つ団

承算年承

認案度認

行

765

。討て

ま

ਰ

をま画年事員 おす案通案会こ 願・をりがにの い来いで決於度 **り月くす定い開** まのつがして催 す総か、ま 会こ新し来れ でこした年た のにい・度3 ご紹行ほの月 審介事ぼ新度 議し計例行役

X 。、前 詳で世3回 し、代月の <そ間か区 はのギら報 || 架ヤ試で

とが始し

な著しま

りしてし

まいまた

しめいし て、子た 行門と。 さます。これである。これである。 ° غ 陰 り識に ジの開設 を出な 車来る がなて 通い小

過たさ



発行責任者 黒石団地区自治会 区長 前川一男 編集者 林田豊司(北1組6班)



てテ会横られう団を回じる。 いったのではン地画体地区たア設連つ成テ区照紹のででの、 紹のでで き動しがボちア自 介了ふ たの、出ラま団治 しつれ い拡よ来ンせ体会 てのあ す団すが 流石団総合 。地 段けッ行掲 ^を橋プ開載

きボい

ア石年

総会の開催について地区

午平 1 1 \Box

石 前成 時年 \boxtimes か4 公 民 ら月 館 2 8 時日

と充りるテんの活

思を一よイ。協動現まラー今

い話層うア来力は在レンで年

ましボな団年が、、たテ、度

す合ラ協体度な各黒 °イ黒1

てテ会横られラ団裏団団間

つン議のかけボ石(

の後退役員そ質に平質監つ悠公計平に平 上日任員改の疑会成疑査り々設報成つ成 ご配役改選他及計2及報実ク消告2い2事団所12時 出布員選 び予2び告行ラ防 1て1 地 02 委ブ、 年の年 ・自 度報度 会子衛 行告規 報ど消 事 約 告も防 変 報 告及 更 会報 O、告 び 無 効

い総員 事 計 。会紹 画 資介 案 业

事りだ

故のつ公

の の 交 た 民

危通門館

険量柱の性増でシ

ふりン高にがソ

ついメル

て、一的

き交ン存

ま通通在

席さ、承

下れ新認

さる役

料

を

査

が加す

ま伴

シ

゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚

民

梿

0

役98

黒石団地区自治会の

http://kuroisidantiku.

投板もペせ民格がは自し 稿や募「下の開あ、治て3 しお集ジさ皆始り毎会い月 て問しのい様にま日のま 1 くいて愛。のなす沢ホす日 だ合い称まごり。山一より さわま・+ いせずロた見ず月アペ石試 欄。ゴホをがかクー団行 か掲な「お、らセジ地運 ら示どム寄区本スに区用



掲示板も出来ました

もあか しで時たああお う変でる子当代年地生へ康はん年で忙る。肝れはで時りり父まかわ、。ど初に間もを会で、でに黒 。宿心まなし期、まさず。つ子そもの入を長対則ス子い発石 地く習題のせいょとますん子 域ないも子んーうもた。おど ` _ 事あど °と。重、他母も 私てもるも いっな仕のさ会 達いあ。は う子り事役んを のま る ク ど 。 ラ う 声ど、で員達お はも集も等の世 子ブで 切会中脂の忙話 ど活し 実どしの行しす も動ょ かこたの事さる を 達もう もろいつもが、

てどれ達子つ区い象〜ポどま足団 いもだがどて切歴にでしますし地 る会け子もいり史しすツ同。のをのどはまとをて。や士子で取時も親すず持い団動が تے 2 で取時も親すす持い団勉が 8 ŧ はりの会と。れちま地学仲と年会 な巻隔になつば、すにに良っのは いくた入りま、小。住励く会歴昭 で状りつ、り第学黒むむしの史和 し況のてそ発5校石小こ、目を5 よも中いの足世6団学と健的刻7

取の

をわい支だ でみ観も卒護会新 り消にイるパくてに子住け若経じで響向 ま知こ生っま援と子すへ的の業者長しそま防バクこトはくはどをらい済て遊はけ す恵のかてす日思ど。のなでし〜職いのす団ッルとロ子れ出も決れ世状るぶ子で °を取すい。本いも 配目すてかを仕よ。のク資か「どてさのめな代況人子どみ

借り仕け安一まを り組組る心をす守 なみかよしス。る をうて一志で がに作る が、一つでの地域である。 てのすの会に子地 。総とし育の ま皆 和関てて力 い様

慮で。いら子組う を見理る、どみな しる由人すもを中 よこはにで会考で うと子委にのえ とでどね子当て今 い、もるど事い年 うす会とも者まー もみをい会へすつ のず客うを保。の

役ア源らルもいなたていがかもどもる 割ッ物始ののまいめいと流ら多ものとはプロめ人たすけにるし出見いが減、 大し収て達め。れ、多てしての減少少 きて作いはに夏どいくもてもでつに子 いい業ま子あま、ろの、い、すたな高 もるをすどりつ力い方こく団。なり齢の、全。も、りをろ々この地最あ、化 が自面りを防の貸とがにはか近と公の あ衛的サ守犯多し口、永避らの感園影

黒 報 石 寸 地 区



詳を

<u>i</u>

り. ・ ・ 打二 ファ ま入住行のも々達区で貴し一一で会んである。と敬し重て。生 で会んである。 てるで 老よな体子懸暑 いれるは 緒会う思験ど命くて いる小学のようである。 にや。いしも練て走し 楽、夏出た会習きつム し文祭とこのしつたを

 \star

駅

駐

輪

場

 \mathcal{O}

転

車

0

し流私し、ど放黒整黒理東も東まが石平くし達て各、置石理石 小達小す、団成

★

学と学

校一校

正緒か

門にら

前下団

で校地

交

通

整

の子ど

★いす黒

∘現地 1

在防7

2 犯年

3 / 16

名卜月

でロに

活|発

動ル足

し隊し

てでた

な★★★★★ 目目はで ど空区リ年家団を的、す黒 詳入以 し団上黒 日での方団 のきのサ末庭地迎で自。石 佐まで地 藤すしに 。 た居 ら住 器消 行刈の資 達自 つり協源 の火 今守 の量 どす て作力物 詰訓 年る せる住所 い業 替練 なる 3 とむ災 収 ま 依 た 1 す 頼 で8 4言団組

0 年う地織 も才 詳門年活 **★★★**するの 警黒環研月。ボ6悠 し戸齢動悠グ 察石境修 1 やグ美旅回 消ラ化行の 誕

費ン まて参地でル 者ド でい加区はフ セの までの、 ン清 すき皆こ の 夕 一 満 た 。る様れ よがら 話 う \O

イ上ブ プロは X グ 民黒 ルで石 構団 プ成地 です内

生

ハランテのの一般のである。

を日高地ま 。 西名人ンり で. 暮チ配 お4らは食 ヽガ

はフサ齢 趣者かく 奥を「者こ旨をけ、単提に齢内つ平 すけ囲暮 う全齢食 - 体署だ 。てをら 詳ス広(しタげの でへけ 言高ので

弁水し ッ、高 当曜の団始 う齢声な

池詳 田し • < 青は Ш

動にな★★

ッが²車内 °月回通パ

2 火報ト

 \Box

ル

•

程金

度曜

出日

はてとい際毎転団団のま緒すがの単すの

原ま緒すが

ませに

でん地

か域

 \mathcal{O}

た

め

な★★★内しいで立催 どプ子企夜容ていもつし毎 、ロど画店 いで楽てて がも・ス ますして ラみ運タ すねい は、スタッフない、スタッフない、スタッフない、スタッフをはいいのでは、この団地は、この団地は、この団地は、 ムこ営っ 「編しスフ 集応夕 来スタッフ ル援スタッフ アッフ をせ、地り 募た少をを

集らし巣主

.会申込票 ボランティア名 氏 名 名 組 班 組 班 連 絡 先

にもす。1 」た志公 消入。団0とち市設 ッ C火 に日関句 。あ等_活基分で団 張 り私れに活づたす地 ま達ば出躍きち。班 せと、動中、でっぱ ん一誰しで現守自、

詳か緒でます在る分合

設選 世 班 U

電た 話ら右 (の てそ申 くれ込 だぞ票 されに いの記 。連入 絡さ 先れ まま

でし